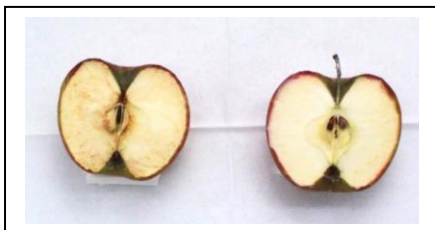


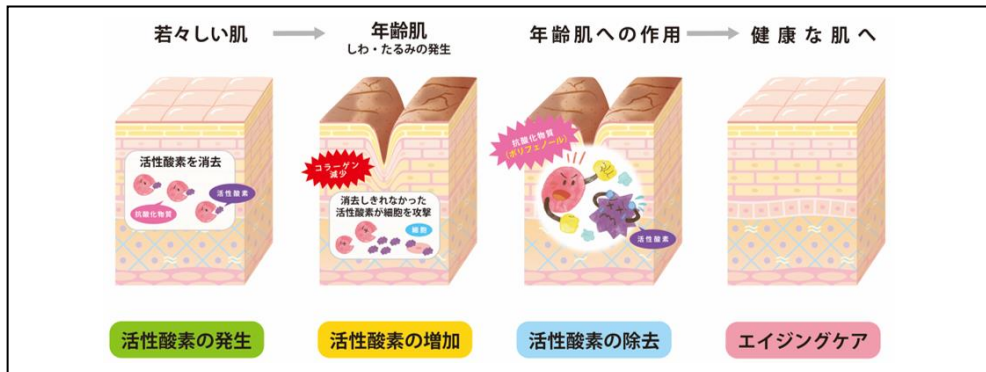
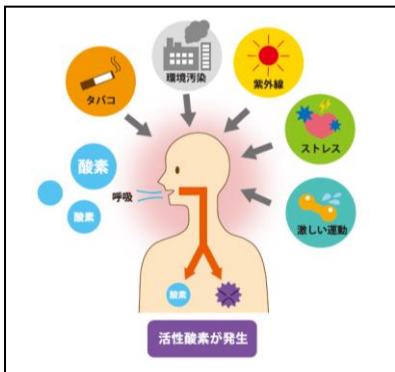
■抗酸化作用についてのデモンストレーション



写真は、リンゴを半分に分けて、右側の断面にはビタミンCを溶かした水溶液を塗布し、左側の断面には何もせずに放置した72時間後の状態。何もせずに放置した断面は、すぐに酸化が進んで変色。一方で、ビタミンC水溶液を塗布した断面は、ほぼ変色することがなく、ビタミンCによる抗酸化作用が分かる。

※マックス化粧品開発研究所調べ

■活性酸素の発生と抗酸化作用によるエイジング効果の仕組み



■共同研究詳細

柿果実由来ポリフェノール
 ・糖負荷後の血糖値上昇抑制作用(ラット、ヒト) ➡ **実用化**

課題: 高分子(MW 300,000)で生体吸収が困難
 (消化管内で生理活性を発揮)

↓

低分子化(生体吸収性の向上) ➡ **(b) 低分子である柿葉由来ポリフェノール**

↓

(a) 亜臨界水処理

↓

低分子化

↓

高い抗酸化性を示す可能性

↓

美肌作用へ

①血糖コントロール能の向上
 ②新たな生理活性の発現

ビタミンCと同等またはそれ以上の**抗酸化活性**

	IC ₅₀ (µg/mL)
柿果実ポリフェノール	6.07
ビタミンC	9.26

DPPHラジカル補足能で測定